

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	03	01	02	0402	介護予防対策事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》

介護予防の推進

《事業開始の背景》

介護保険法の改正により、18年度から介護予防事業を介護保険で実施することとなり、要介護・要支援になるおそれある虚弱な高齢者に対し、必要な事業を実施することとなったもの。湯のまちホット交流事業は老人福祉センターの施設廃止に伴い22年度から開始されたもの。

《事業概要》

○湯のまちホット交流サービス
60歳以上の市民からなる4人以上の団体にに対し、市と契約した22温泉施設において温泉入浴及び部屋での休憩を無料で提供する。
○生きがい活動支援通所（生きがいデイサービス）
介護保険認定されていない高齢者に対し、市内22箇所のデイサービスセンターで日常動作訓練、創作趣味活動、健康チェック等を行う。
○いきいきホーム：東和地域の高齢者に対する介護予防事業。

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 介護保険要支援・要介護認定者の割合	%	目標	20.6	20.8	
		実績	19.2	19.6	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
暮らし	健康福祉部	長寿福祉課	坊澤尚行	514

	25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費	37,764				
財源内訳	国県支出金				
	地方債	3,700			
	その他	9,420			
	一般財源	24,644			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

・ **湯のまちホット交流サービス事業委託料…H25決算額 19,885千円**
 【目的】温泉活用により介護予防の観点から高齢者の交流生きがいがづくり、健康増進を図る。
 13節委託料: 19,677千円 【委託先】市内契約温泉事業所22施設 【委託料単価】600円/人
 11節消耗品費: 208千円 【内容】契約温泉施設への温泉入浴及び休憩を無料で提供。(特定曜日・時間内)
 【利用対象者】60歳以上の市民で4人以上の団体(要件あり)

・ **生きがい活動支援通所事業(生きがいデイサービス)委託料…H25決算額 14,153千円**
 【目的】在宅高齢者に対し通所による各種サービスを提供、自立生活助長、心身機能向上、閉じ籠り防止を図る。
 13節委託料: 14,153千円 【委託先】市内契約通所介護施設22施設 【委託料単価】2,600円/人(生保3,000円)
 【内容】デイ施設での動作訓練、趣味活動、入浴サービス等の提供

・ **いきいきホーム事業委託料…H25決算額 3,726千円**
 【目的】はつらつ長寿館を会場に介護予防事業を開催、東和地区の高齢者等の介護予防を図る。
 13節委託料: 3,726千円 【委託先】花巻農業協同組合 【委託料単価】27,000円/1回 【開催回数】138回/年
 【内容】はつらつ長寿館(介護予防拠点施設)を活用した介護予防事業。趣味活動や健康チェック、給食等のサービス提供により介護予防、閉じ籠り防止を図る
 【指定管理者】花巻農業協同組合

介護予防対策事業(総括表)

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業J-T*	事業名
一般	03	01	02	0402	介護予防対策事業

総合計画	政策	保健・医療・福祉のネットワーク 拡充で安心のまちづくり	施策	高齢者や障害者がまちで暮らす真の ノーマライゼーションへの取り組み
目的	介護予防の推進			
対象	高齢者			
意図	高齢者が、要介護状態にならずに地域で健康な日常生活を送ることができる。			

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

○湯のまちホット交流サービス
60歳以上の市民からなる4人以上の団体に、市と契約した22温泉施設において温泉入浴及び部屋での休憩を無料で提供する。

○生きがい活動支援通所（生きがいデイサービス）
介護保険認定されていない高齢者に対し、市内22箇所のデイサービスセンターで日常動作訓練、創作趣味活動、健康チェック等を行う。

○いきいきホーム：東和地域の高齢者に対する介護予防事業。

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 湯のまちホット交流サービス利用延人数	人	計画	28,330	40,100	
		実績	35,402	32,795	
② 生きがいデイサービス利用延人数	人	計画	7,300	7,300	
		実績	6,137	5,434	
③ いきいきホーム利用延人数	人	計画	2,650	2,670	
		実績	2,664	2,612	
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 介護保険要支援・要介護認定者の割合	%	目標	20.6	20.8	
		実績	19.2	19.6	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			

要因分析	達成度	<input type="checkbox"/> 目標値より高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね目標値どおり	<input type="checkbox"/> 目標値より低い
湯のまちホット交流サービス事業は事業開始から3年目となり利用方法も定着したことから、利用者の伸びが顕著。 成果指標：5,981人（全認定者H26.3末）/30,488（65歳以上高齢者人口H26.3末）*100=19.6%				

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

・湯のまちホット交流サービス事業における事業実施施設の拡大

目的妥当性	公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	市町村業務である生活支援サービスの一環として、要介護状態にならないことを図る施策を推進する必要がある。また高齢者の介護予防の重要性を啓発し関心を高めていくため、地域包括支援センターや介護サービス事業所等関係機関の協力を得て推進する必要がある。
有効性	成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	高齢者の介護予防推進には各種事業への参加者が増えていくことが重要であるため、事業者や事業参加者の意見を聴取しながら事業効果の創出に努める。また、事業周知の広報活動を地域包括支援センターや介護サービス事業所等と連携しながら推進していく。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	当該事業は最少経費で実施しており削減の余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	湯のまちホット交流サービス事業については、平成23年度より利用者対象年齢を65歳から60歳以上とし、要件の緩和を実施。また生きがいデイサービスについては事業所と連絡調整のうえ利用決定しており、受益機会は公平である。

《総合評価》…上記評価結果の総括

○湯のまちホット交流サービス今後の推移に注視。利用回数制限しないなかでの抑制対策を検討。
○生きがいデイサービス事業、いきいきホーム事業は介護予防において重要な施策であり継続すべき事業であることから、事業内容を常に点検しながらすすめていく必要がある。